

みずほCustomer Desk Report 2017/02/07号 (As of 2017/02/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	112.47
TKY 9:00AM	112.65	1.0782	121.44	0.9923	GBP/USD	1.2491
SYD-NY High	112.77	1.0804	121.44	0.9962	AUD/USD	0.7690
SYD-NY Low	111.63	1.0705	119.98	0.9904		0.7628
NY 5:00 PM	111.73	1.0750	120.09	0.9911		0.7660
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.245/11.695		Δ25RR	0.698	Yen Call Over	
NY DOW	20,052.42	▲19.04	債券市場	日本2年債	-0.2120	1.3bp
NASDAQ	5,663.55	▲3.21		日本10年債	0.1060	0.6bp
S&P	2,292.56	▲4.86		米国2年債	1.1490	▲4.8bp
日経平均	18,976.71	58.51		米国5年債	1.8453	▲6.4bp
TOPIX	1,520.42	5.43		米国10年債	2.4077	▲5.7bp
ソコ日経先物	18,875	▲205.00		独10年債	0.3700	▲4.2bp
ロンドンFT	7,172.15	▲16.15		英10年債	1.3170	▲3.5bp
DAX	11,509.84	▲141.65		豪10年債	2.7640	▲3.2bp
ハンセン指数	23,348.24	219.03	為替市況	USD/CNH	6.8002	▲0.0023
上海総合	3,156.98	16.81		ドルインデックス	99.90	0.03
USDJPY 3M Vol	11.66	▲0.25%	商品市況	CRB指数	192.164	▲1.04
USDJPY 6M Vol	11.68	▲0.24%		NY金	1,232.10	11.30
EURJPY 3M Vol	11.11	▲0.09%		WTI	53.01	▲0.82
EURJPY 6M Vol	12.79	0.27%		Dubai Spot	54.97	0.18

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月6日	9:30	豪 小売売上高(前月比)	12月 -0.1%	0.3%
	10:45	中 Caixinサービス業PMI/総合PMI	1月 53.1/52.2	-
	16:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	12月 5.2%/8.1%	0.7%/4.2%
	23:00	欧 ドラギECB総裁 議会証言	-	-
2月7日	6:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁講演	-	-

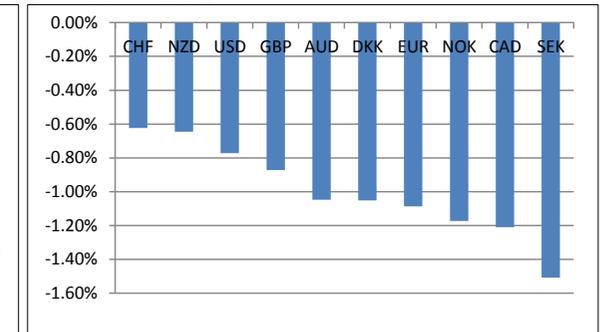
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月7日	12:30	豪 RBAキャッシュレイト	-	1.50%
	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 0.3%/2.5%	0.4%/2.2%
	22:30	米 貿易収支	12月 -\$45.0B	-\$45.2B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.90-112.20	1.0650-1.0780	118.50-120.50

【マーケット・インプレッション】

前日のドル円相場は欧州政治リスクが意識される中で下落し、年初来安値を更新。世論調査におけるルペン仏大統領候補(国民戦線)支持拡大との結果が材料視された。本日のドル円相場は上値重い展開を予想する。足元の米経済指標群では良好な結果が多く見られたが、トランプラリーにより水準を既に上げている米株・米金利の更なる上昇にはやや力不足であるとの印象。一方で、昨日みられたような欧州政治リスクや米トランプ大統領の発言といった短期的なリスクオフ材料が顕在化しやすい地合にあると考えられ、ドル円相場は上値重い展開が継続することを予想する。

東京	東京時間のドル円は112.65レベルでオープン。前週末の米1月雇用統計の結果を受けたドル売り優勢地合いを引き継ぎ、また前日比プラス圏で寄り付いた日経平均が弱含む展開にドル円も112.22レベルまで下落。中国Caixinサービス業PMI/総合PMIは前月比弱い結果となるも、市場への影響は限定的。午後にかけては、米長期金利の小幅上昇や日経平均の下げ止まり等を背景にドル円は112円台半ばまで回復。その後は材料難の中、方向感乏しく推移し、結局112.54レベルでクロスした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、112.54レベルでオープン後、米金利低下を受け、やや軟調に推移し、112.25レベルでNYに渡った。ポンドは1.2490レベルでオープン。この日発表された大企業を対象とした世論調査(Ipsos Mori)で、英EU離脱投票が既に悪影響を及ぼしているとの回答が58%(好影響と回答したのは11%)だったことを受け、1.2450まで下落。その後はレベルをやや回復し1.2483レベルでNYに渡った。ユーロは、1.0776レベルでオープン。最新の仏大統領選の世論調査の結果(フィオン氏支持率低下)等を背景にリスク回避姿勢が高まり、欧州債利回りが全般的に下がる中、ユーロは上値重く推移し1.0730まで下落。1.0734レベルでNYに渡った。尚、フィオン氏がロンドン時間15時に記者会見を実施するとの報道を受け、スキャンダルに対する打開策が示されるとの憶測が浮上したことも、仏債利回りを押し下げられるように作用した。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	今週10日に日米首脳会談を控えた様子見ムードから112円台半ば近辺で上値重く推移していたドル円は、欧州時間にフランス大統領選での極右政党当選に対する警戒感が強く意識され、リスク回避の動きが強まり、クロスに連れ安となり112.25レベルまで下落してNYオープン。軟調な欧州株を眺めながら米株先物も下落幅を拡大する中、米長期金利の低下も相俟って、ドル円は先週2月3日につけた安値112.05を下抜け111.99まで下落。大型のオプションハリアがあると噂されていた111.90をブレイクできなかったことから、一旦は短期筋のショートカバーが強まり112.59まで反発。しかしながらドル売り優勢地合は変わらず、米長期金利の低下を背景に再び下値トライの様相を呈し、朝方つけた安値111.99を下げると、ストップを巻き込みながら安値となる111.63(年初来安値)まで急落。その後は111円台後半の小幅なレンジで方向感なく推移し、111.73レベルでクロス。ユーロは、リスク回避姿勢の高まりを背景にユーロ円主導でユーロ売りが強まり、1.0734レベルでオープン。フィオン氏の記者会見では目新しい材料に欠ける内容となり、ユーロは一時安値となる1.0705まで下落。その後はドル売り優勢の展開から1.0755まで回復し、結局1.0750レベルでクロス。尚、ドラギECB総裁の議会証言もあり、引き続きの緩和姿勢が改めて示されたが、市場への影響は限定的だった。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 島田 鶴田